

# 確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】（4ページ～11ページ）に基づいて作成した「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」を示して、申告書の記載手順を説明します。
- 記載手順は、矢印と番号（①～⑦）で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、各【事例】をご覧ください。  
 なお、「確定申告書」の作成に先立って、「株式等に係る譲渡所得等の金額の計算明細書」などの各種明細書（国税庁ホームページからダウンロードできます。なお、税務署にも用意してあります。）を作成します。

（記載した部分は、便宜上、青色で表示しています。）

確定申告書には、毎回、マイナンバー（個人番号）を記入する必要があります。

## 記載手順

- ① 「株式等に係る譲渡所得等の金額の計算明細書」等を作成します。（4～5、12～13、18～19、24～25、30～34ページ参照）
- ② 第一表の収入金額等と所得金額等の箇所を書きます。（6、14、20、26ページ参照）
- ③ 第二表を作成します。第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。（第二表の記載例は、7、21、27ページを参照してください）
- ④ 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。（8ページ参照）
- ⑤ 第三表の分離課税の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。（9、15、22、28ページ参照）
- ⑥ 第三表の税金の計算、その他 の箇所を書きます。（10、16、23、29ページ参照）
- ⑦ 第一表の税金の計算、その他 などの箇所を書きます。（11、17、23、29ページ参照）

## 申告書記載に当たってのお願い

記載に当たっては、次の点についてのご協力をお願いいたします。

- 1 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください。  
 なお、申告書は複写式となっていますが、2枚目(控用)は取り外して使用しても差し支えありません。
- 2 フリガナは、濁点「・」半濁点「゜」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
- 3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際は、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。  
 【記載例】 縦線1本 間を開ける 上に突き抜ける 角を作る 閉じる  
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9  
 【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)  
 1234500000  
 【記載例】 配当 1230000  
 給与 2300000
- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

申告書B第二表

申告書B第一表

令和02年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

整理番号 FA2300

住所 A市××町1-23-9

氏名 国税 一郎

職業 会社員

所得金額等

収入金額等	譲渡される所得金額	000
	配当控除	1387850
	復興特別所得税額	29144
	所得税及び復興特別所得税の額	1416994
	源泉徴収税額	1273900
	申告前税額	143000
	所得から差し引かれる金額	9850000
	社会保険料控除	900000
	生命保険料控除	100000
	地震保険料控除	50000
	基礎控除	480000
	合計	1530000

税金の計算

復興特別所得税額 44

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!

令和02年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

整理番号 FA2400

住所 A市××町1-23-9

氏名 国税 一郎

所得金額等

収入金額	短期譲渡	1277600
	長期譲渡	110250
	一般株式等の譲渡	350000
	上場株式等の譲渡	2400000
	先物取引	152500
	退職	583500
	所得から差し引かれる金額	9850000
	税金の計算	8320000
	その他	735000
	合計	1530000

税金の計算

所得から差し引かれる金額

退職所得控除